

Q 職員用パソコンの入れ替えの際、古い端末内に残ったデータの処理はどのように行っているのか。

A 契約業者により、役場職員の立ち会いのもと、全てのハードディスクに穴を空け、データ破壊を行った上で、処分をしています。

Q 代替バスとごかりん号の利用状況は。

A 平成30年10月から令和元年9月までの実績になりますが、代替バスは5万8,599人で前年度より4,143人増、ごかりん号は1万7,847人で前年度より3,472人増でした。



Q ごかりん号の運行が廃止となっている路線があるが、インター周辺開発地内へ商業施設が誘致できていないことや、今後、自動車運転免許を自主返納する方が増えてくることを考えると、この路線を取り扱わないことは、公共交通の公平性に欠けるのではないかと。現段階で、どのような方向性を考えているか。

A 現在、町内企業と連携した形ができないか協議を進めているところです。

Q 社会福祉協議会運営補助金が約440万円減額となっているが、その理由は。

A 人件費を含めた事業全体の見直しを行ったことによる減額です。

Q 空家等対策事業に計上の空家等除却（解体）補助金の予算要求は、1棟あたり30万円で2棟分であるが、昨年度予算は1棟あたり50万円で3棟分であった。予算を減額した理由は何か。

A これまでに実績がないことや町の財政面を考慮して見直しました。

Q 65歳以上の方を対象に助成を行っているインフルエンザと成人用肺炎球菌予防接種の接種者数は。

A 平成30年度の実績で、インフルエンザは1,216人、成人用肺炎球菌は202人です。



Q 土地利用事業化検討業務について、これまでの状況と今後の流れは。

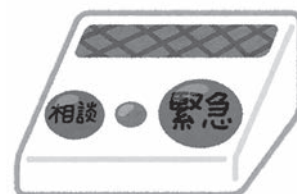
A 平成30年度に町内全域において新規開発候補地として10数カ所を選定し、事業化の可能性について調査検討を行いながら、候補地を5箇所程度に絞り込みました。令和元年度には、農政協議等を行いながら3箇所に絞り込みました。令和2年度には、1箇所に絞り込み、権利調査や設計関係、基準点測量等を行いながら準備委員会を立ち上げ、令和4年度には事業化できるよう進めていきます。

Q シルバー人材センターで請け負っている受注金額及び手数料収入はどのくらいか。

A 平成30年度の請負受注金額は、1億1,425万6,540円。手数料収入は、933万7,061円でした。

Q 独居高齢者や高齢者のみの世帯に設置している緊急通報装置の機能は。

A ご自宅の電話線に取り付けることで、緊急時にボタンを押せば、消防署につながる仕組みです。消防署から身内の方やご近所の方へ連絡がいくようになっていきます。



Q 転作実施面積における、麦類、大豆、飼料用米等の戦略作物の占める面積は。

A 平成30年度の実績で、麦類が70万3,552㎡。大豆が4万7,842㎡。飼料用米が33万1,654㎡です。

Q 認定農業者に登録をされている方は何名いるのか。また、平均年齢はどのくらいか。

A 27名が登録しており、平均年齢は60代後半くらいです。

